



New way, New value

双日株式会社

証券コード：2768

双日と株主の皆さまとの  
双方向コミュニケーション誌

2014 冬号

# 双

特集

## 双日の 女性社外役員

IR インフォメーション

2015年3月開催

福岡 株主説明会開催のご案内

当期の業績と今後の見通しについてお話しします。

株主の皆さまにおかれましては、日頃より  
ご支援とご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度は「中期経営計画2014」の最終年度となりますが、その締めくくりとして、資産の入れ替えと将来の成長につながる新規投資を着実に実行することにより資産の質を改善し、将来への持続的な成長につながる収益基盤を構築してまいります。

代表取締役社長

佐藤 洋二

Q 2015年3月期の第2四半期(累計)実績についてお聞かせください。

A 「中期経営計画2014」Change for Challenge」の最終年度である2015年3月期の経済環境は、

一部の国や地域における政情不安などが成長の下振れ懸念要因として存在するものの、世界経済全体としては米国を中心に緩やかな回復基調となっております。

このような環境下において、当社の2015年3月期第2四半期の業績は、2014年3月期決算発表時に

公表した通期業績見通し(当期純利益(当社株主帰属)330億円)に対し、順調に推移しております。

実績は、煙草や小麦の取扱数量減少などにより、売上高(日本基準)は前年同期比57.4億円減収の1兆944.8億円、売上総利益は、海外自動車事業での販売台数の減少などにより、前年同期比33億円減益の962億円となりました。また、持分法による投資損益の改善などもあり、当期純

利益(当社株主帰属)は前年同期比27億円増益の167億円となりました。

海外自動車事業の一部で販売台数の減少による影響もありましたが、LNG事業が好調であったエネルギー・金属資源分野や工業団地事業が堅調に推移した生活産業分野の増益が貢献して、前年同期を上回る実績となりました。

Q 2015年3月期の見通しについてお聞かせください。

A 2015年3月期の見通しは、量的緩和終了にともなう米国の金利の上昇が想定されるなかでの為替や株式市場の動向、消費増税にともなう反動減からの回復が鈍い日本経済や景気後退懸念が高まる欧州経済動向などを注視

する必要はありますが、当期純利益(当社株主帰属)は、期初に発表した見通しを変更せず、2014年3月期比で57億円増益となる330億円を予想しております。引き続き、当社の利益水準は着実に回復に向かっております。

Q 配当についてお聞かせください。

A 中間配当につきましては、業績の進捗状況を踏まえて、期初の予定どおり、1株あたり2円50銭とさせていただきます。

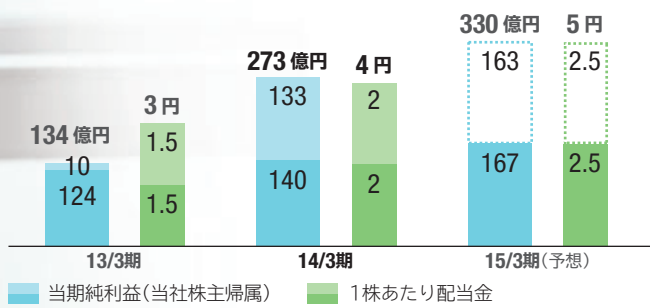
また、今年度の年間配当につきましても、1株あたり5円(中間2円50銭、期末2円50銭)の配当予想を変更しておりません。

に実行し、企業価値を向上させ、配当額も継続的に向上させていくことで、株主の皆さまのご期待にお応えしていきたいと考えております。

配当に関しましては、これまでと同様に、安定的かつ継続的に配当を行う

とともに、内部留保の拡充と有効活用によって企業競争力と株主価値を向上させることを、経営の重要課題のひとつと位置づけております。引き続き、「中期経営計画2014」Change for Challenge」の諸施策を着実

当期純利益(当社株主帰属)、1株あたり配当金の推移





2014年 4月～9月

④ 機械部門

③ エネルギー・金属部門

② 化学部門

① 生活産業部門

⑤ その他



### ベトナム フォーミー 3火力発電所が操業10周年 ①

当社・九州電力などが参画するフォーミー 3火力発電所が操業10周年を迎え、ベトナム政府から功労賞が贈られた



### 双日インフィニティが、女性社員からなるキャリア開発チームを新設

アパレルブランドの店舗スタッフ教育をはじめとした全社横断的な教育、採用、人材交流、人事制度見直しなど、働きやすい組織作りを目指す取り組みを開始



### 「日本リート投資法人」の上場 ②

双日リートアドバイザーズ株式会社が資産の運用を行う日本リート投資法人が東京証券取引所不動産投資信託証券市場に上場



### 双日建材とエナリス、太陽光発電事業に関して業務委託契約を締結

再生可能エネルギー利用による新電力(PPS)の普及に貢献



### 双日米国で自動車販売事業を拡大 ③

BMW・MINIディーラーの株式を取得



### 農業法人「株式会社マイベジタブル」を設立 ④

高床式砂栽培にて生鮮野菜の需給安定に貢献



### 当社グループでデータセンター運営のエヌシーアイがNTTグループのシステム構築大手と組み、相互のクラウドサービスを接続

海外進出する日本企業が海外でも日本品質のクラウドサービスを使いやすくする狙い



### 双日とミャンマーの小売・流通最大手シティマート、低温物流でタイ国境に倉庫設置を計画

ミャンマーで低温物流を整備し、今後拡大が見込まれる小売業者や消費者の需要に対応



### 植物由来のポリエチレン(グリーンPE)を自社製品に採用する中小企業向け市場開拓支援事業を開始

低環境負荷商品の展開を後押しして、グリーンPEの拡販につなげる



### 自動車部品の輸出入・物流の拡大に向け、アジアでの拠点を拡大

日系自動車関連メーカーの東南アジアへの進出を背景に、年内をめどにインド・インドネシアに拠点を設置



### 持分法適用会社のメタルワンとJFEスチールが、ブラジル国営石油会社ペトロプラスが展開する油田開発プロジェクト向けに油井管を受注



### 双日インシュアランス、太陽光発電関連事業者向けに「サンブレラ®」を販売へ

太陽光発電事業をサポートするソリューションプランで市場に参入



①ベトナム フォーミー 3火力発電所



②日本リート投資法人が上場



③BMWディーラー ショールーム



④マイベジタブルの高床式砂栽培

## ビジネスニュース

双日グループ2014年度上期の事業活動の一部をご紹介します。

## 双日グループ 企業理念

双日グループは、誠実な心で世界を結び、新たな価値と豊かな未来を創造します。

## 双日グループ スローガン

*New way, New value*

双日グループは、新しいビジネスと価値を創出する総合商社として、国内外約420社の関係会社とともに世界各国の拠点を通じ、機械、エネルギー・金属、化学、生活産業の4分野にて事業を展開しております。



## 営業部門別当期純利益(当社株主帰属)

(2015年3月期第2四半期)



### 機械部門

前年同期比3億円減

13億円

- 自動車本部
- インフラプロジェクト・産機本部
- 船舶・宇宙航空本部



オマーン IPP事業「バルカ3」



### エネルギー・金属部門

前年同期比30億円増

71億円

- エネルギー本部
- 金属・ユーティリティ本部



カタール国沖合 カルカラ油田東南第一鉱区



### 化学部門

前年同期比8億円減

32億円

- 化学品本部
- 環境資材本部



メキシコ バライト鉱山



### 生活産業部門

前年同期比16億円増

66億円

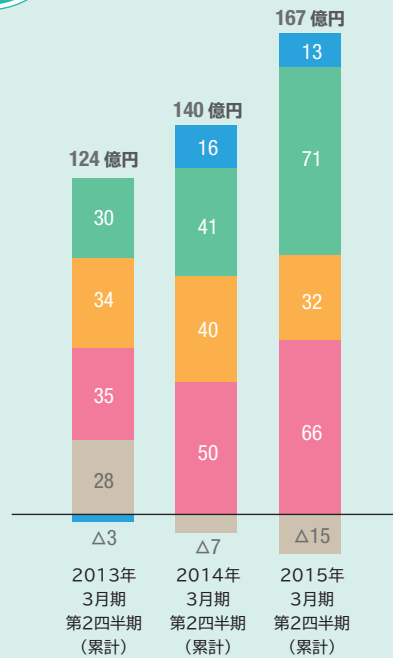
- 食料・アグリビジネス本部
- 林産・生活資材本部



ブラジル穀物事業の輸出拠点 北部イタキ港の穀物保管倉庫

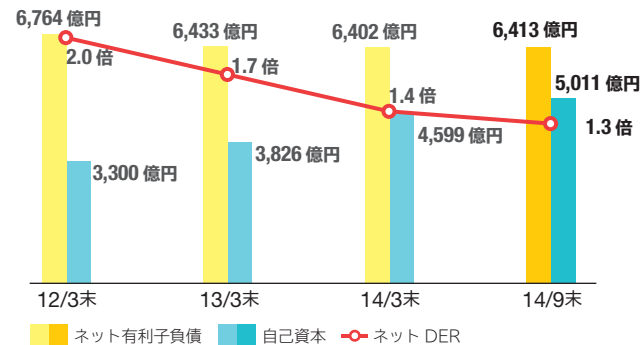
ZOOM UP!

## 営業部門別当期純利益(当社株主帰属)増減要因



- 機械部門 13億円(前年同期比3億円減)**  
 海外自動車事業の販売台数の減少等により減益となりました。
- エネルギー・金属部門 71億円(前年同期比30億円増)**  
 石炭価格下落の影響はあるも、一部合金鉄市況の回復等により売上総利益は増益となりました。また、持分法による投資損益の増加もあり、当期純利益も増益となっております。
- 化学部門 32億円(前年同期比8億円減)**  
 合成樹脂関連の取扱い数量増加等により売上総利益は増益となりましたが、新規案件組成による経費先行等により当期純利益は減益となりました。
- 生活産業部門 66億円(前年同期比16億円増)**  
 海外工業団地事業が堅調に推移したことなどにより増益となりました。

## 主要経営指標



収益の積み上げや円安などにより、自己資本は前期末比412億円増加いたしました。これにより、自己資本を分母、ネット有利子負債を分子として算出されるネットDER(ネット有利子負債倍率)も1.3倍と低下しております。「中期経営計画2014」発表時に掲げた目標数値(ネットDER:2倍以下)を達成しており、当社の財務体質の健全性は向上しております。

## 連結純損益計算書(要旨)

(億円)	2015年3月期第2四半期 (2014.4.1~2014.9.30)	2014年3月期第2四半期 (2013.4.1~2013.9.30)	増減額
売上高(日本基準)	19,448	20,022	△574
売上総利益	962	995	△33
販売費及び一般管理費	△766	△766	0
営業活動に係る利益	189	213	△24
税引前利益	283	263	20
当期純利益(当社株主帰属)	167	140	27
当期包括利益(当社株主帰属)	391	430	△39

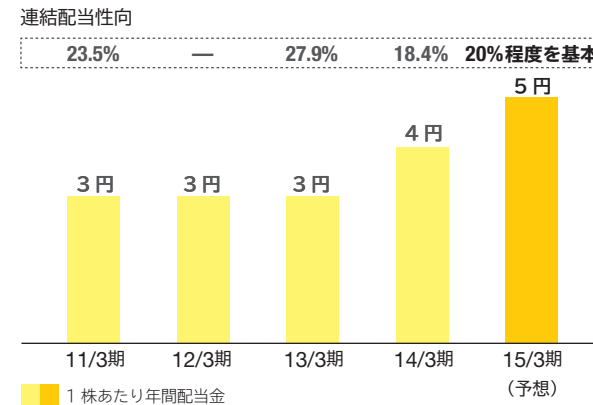
## 連結財政状態計算書(要旨)

(億円)	2015年3月期第2四半期末 (2014.9.30現在)	2014年3月期末 (2014.3.31現在)	増減額
流動資産	13,402	13,218	184
非流動資産	9,292	8,984	308
資産合計	22,694	22,202	492
流動負債	7,912	8,118	△206
非流動負債	9,384	9,154	230
資本合計	5,398	4,930	468
負債及び資本合計	22,694	22,202	492

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(億円)	2015年3月期第2四半期 (2014.4.1~2014.9.30)	2014年3月期第2四半期 (2013.4.1~2013.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	78	418
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43	△123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103	△294
現金及び現金同等物の期末残高	4,179	4,280

## 配当政策



2015年3月期の配当につきましては、中間配当は期初の予定どおり、1株あたり2円50銭といたしました。年間では5円(中間2円50銭、期末2円50銭)の配当を予定しております。

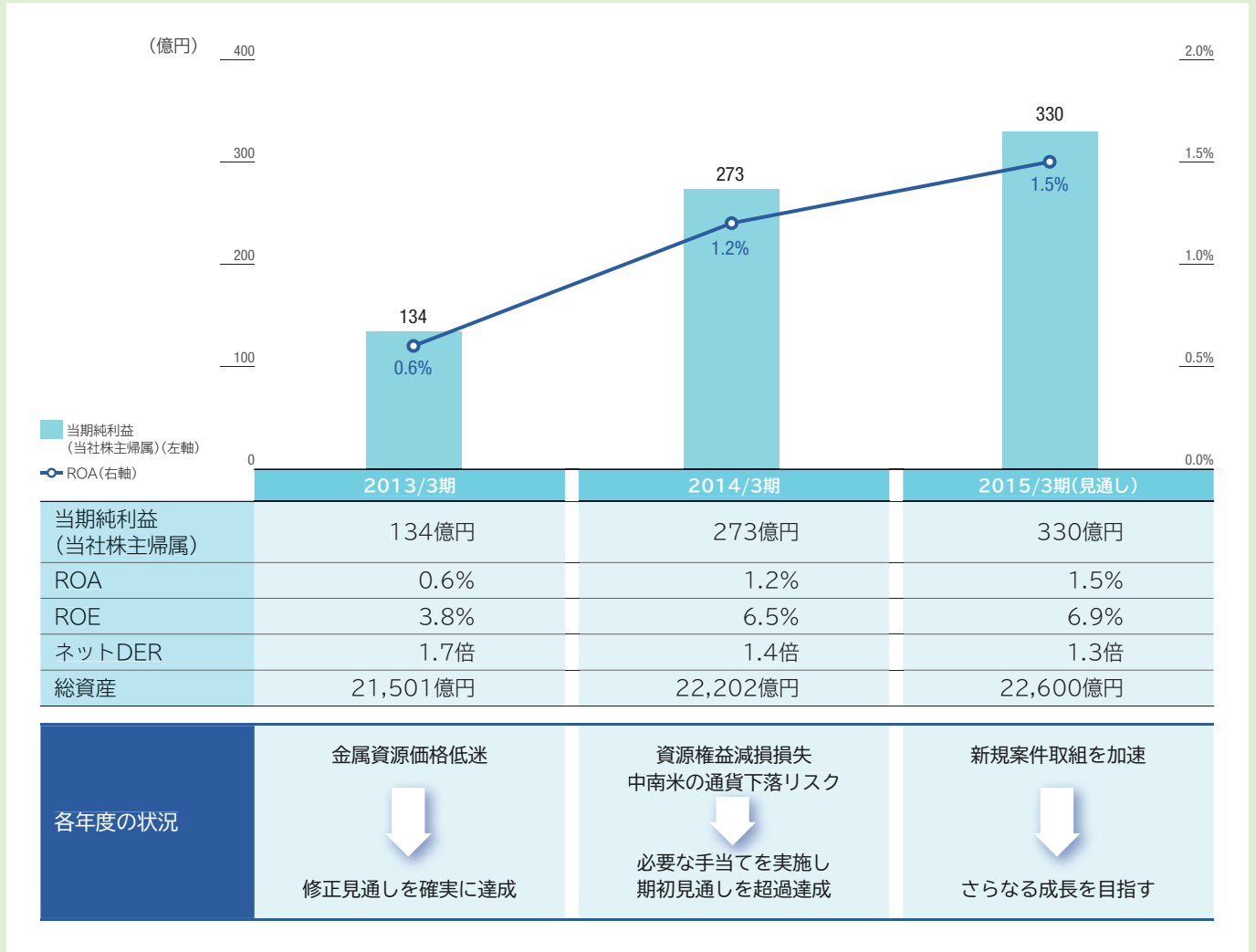
当社は、株主の皆さまに対して安定的かつ継続的な配当を行うとともに、内部留保の拡充と有効活用によって企業競争力と株主価値を向上させることを経営の重要課題のひとつと位置づけ、連結配当性向を20%程度とすることを現中期経営計画における基本方針としております。

# 中期経営計画2014

～ Change for Challenge ～

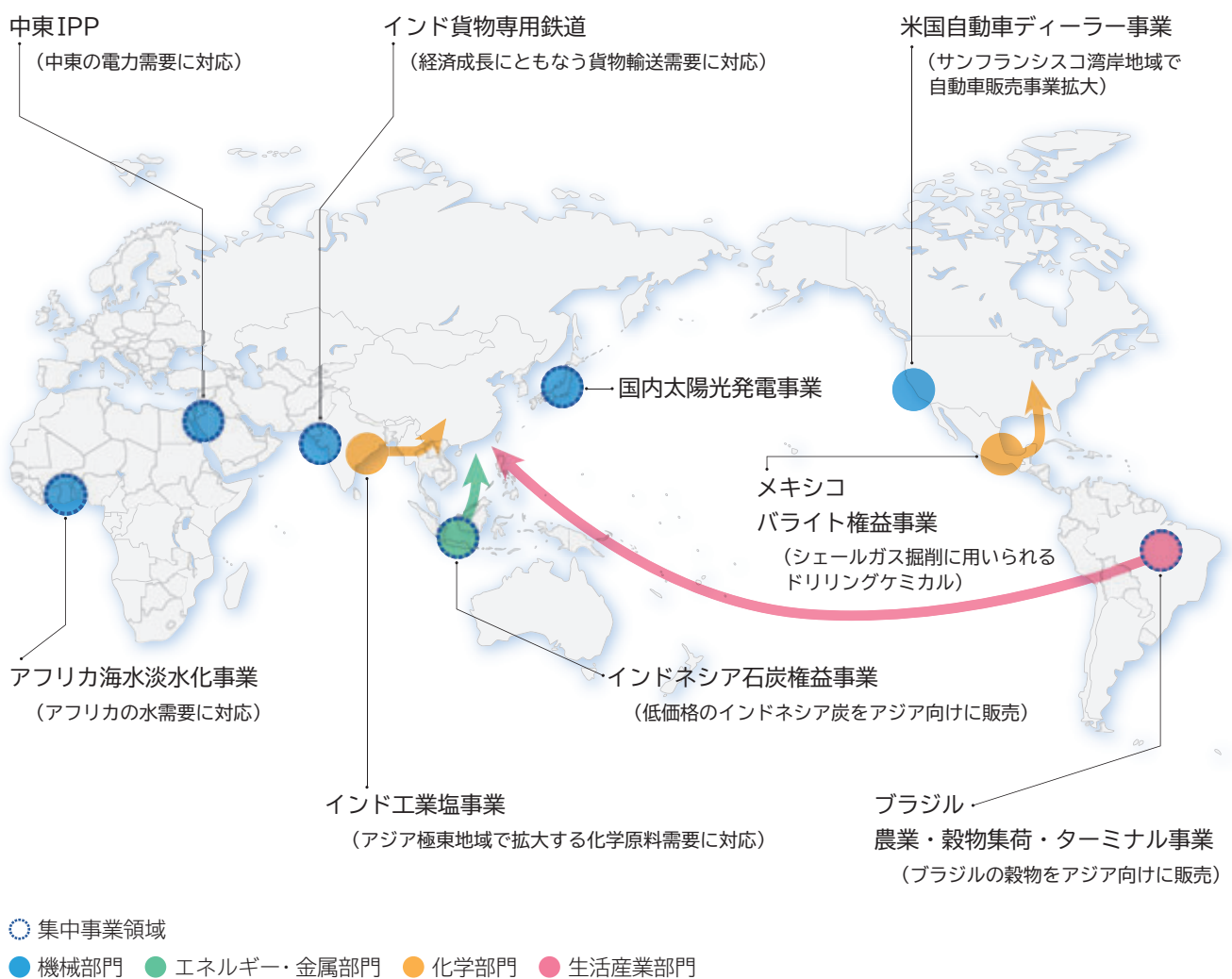
さらなる飛躍に向けた新たな挑戦を果たすため、自らを変革し続けていく  
この強い信念をもって、企業価値の向上を目指す

## 中期経営計画2014の進捗 振り返り



## 中期経営計画2014 新規案件実行地域

中期経営計画2014で設定した集中事業領域を中心に  
今後の成長が見込めるそれぞれの分野で新規案件を組成





## 特集

# 双日の女性社外役員

双日では、2013年6月の株主総会において社外監査役として瀬古美喜氏を、2014年6月の株主総会において社外取締役として石倉洋子氏を、それぞれ女性役員として初めてご選任いただきました。本特集ではお二人に、「双日の企業価値向上」についてのお考えをお聞きしました。

### 双日の経営体制

現在、当社の取締役会は7名の取締役で構成されており、そのうち2名は社外取締役です。社外取締役には、内部昇格の社内取締役とは異なるさまざまな経験をもとにした外部の視点をもつて経営に携わり、経営の透明性を高めることや株主重視の経営を促進することが期待され、近年、多くの日本企業が導入を始めています。双日は発足時の2004年から社外取締役を置き、さらに2007年6月からは2名に増員しており、株主の皆さまをはじめとするステークホルダーのご期待にお応えするこ

とができる経営体制を構築しています。また、経営活動を監視・監督する機能を持つ監査役会は、4名の社外監査役を含む5名の監査役で構成されています。社外監査役も社外取締役と同様に外部の視点から助言を行うという役割を担っており、当社では、法律、金融、会計、経済といった多様な分野で高い専門性を持つ社外監査役を置くことで、グローバルにさまざまな分野で事業を展開する総合商社の経営を適切に監視・監督することのできる体制を整えています。

### 社外取締役からのメッセージ

#### 世界の潮流を捉えて、外部の視点から率直に提言

現在、世界では大きな変化が起こっています。そのひとつには、新興国の成長があり、その市場には大きな商機が期待できます。インフラ整備など、商社がそれら地域で果たす役割はますます拡大していくでしょう。また双日は、10周年を迎え変革期にあります。これらの点に可能性を感じたことが、社外取締役をお引き受けした理由です。

商社のビジネスは非常に複雑です。取締役会などでは、私がこれまで積んできたキャリアや経験をもとにして、「対象となる市場・国における双日の競争力は何なのか」、「双日にしかできないことはどのようなことか」などをお聞きするようにしています。また、双日が社内ですべてを進めようとする際に、その意思決定を外部はどのように見るのかを、世界の潮流と照らし合わせて率直に提言しています。

#### さらなる双日の強みを見つけ出し、発揮することに貢献したい

商社は極めて広範な領域でビジネスを展開していますが、すべての領域で勝ち続けることはできません。今の双日に求められるのは、業界や地域など独自性を追求していくことだと考えています。つまり、絶対的な強みを持つ分野・地域をひとつずつ積み重ね、絶対負けない独自性のある事業の集合体になっていくべきであるということです。また、その独自性を極めるためには、多様な視点が必要であると感じています。商社の特徴として、事業をグローバルに展開していくのですから、組織として、人材も含めて、もっと多くのことを取り入れていくべきです。私は、社外取締役として、また、女性として、多様な視点を双日に取り入れるという役割を感じています。

独自性を持ち多様性を備えた企業、そのポテンシャルが双日にはあります。社外取締役として、さらなる双日の強みを見つけ出し、活かしていくことに少しでも貢献していきたいと考えています。

### 社外監査役からのメッセージ

#### 企業固有の盲点を指摘するのが社外監査役役割

社外監査役として私に課せられた責務は、第三者の立場から不当や不正がないかどうかを監視する牽制機能を果たすことだと考えています。私は、これまで実業界とは異なる経済学という学問の世界に身を置いてきましたので、その専門性を活かしながら、率直に意見を申し上げます。

特に、企業では「常識」とされていることに「盲点」がある場合もあるのです。例えば、内部統制やリスク管理など、社内ではわからない固有の盲点を、社外の目から見て検証するよう心がけています。

#### 時代の変化に敏感な双日の経営

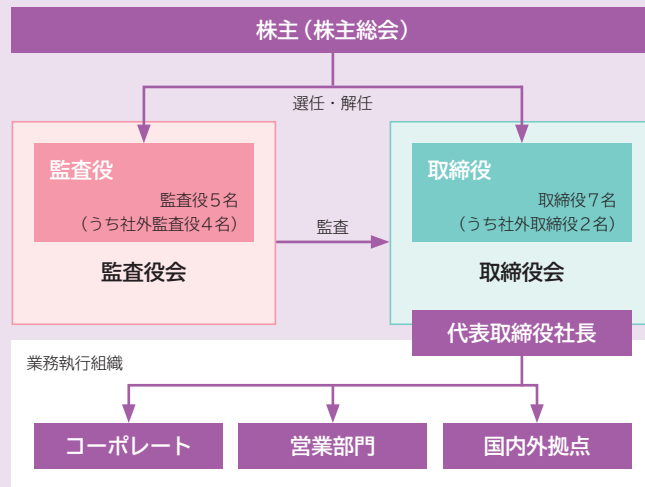
社外監査役に就任して1年が経過しましたが、大企業としての堅苦しい縦社会の雰囲気はなく、風通しの良さが、双日の社風の特徴だと感じています。また、IFRS（国際会計基準）への移行や複数の社外取締役の早期導入、多様性に富むバックグラウンドを持つ社外監査役を置くことなど、双日は時代の変化や社会の要請に常にアンテナを張り巡らし、先駆けて流れを読み取る経営をしています。いうまでもなく取締役会も、双日に対する理解の深い社外取締役が的確な質問をするなど、活発な議論がなされ、公明、公正で、透明性のある運営がなされています。

#### 専門性を活かし、企業価値の向上に貢献していきたい

グローバル化が進むなかで、総合商社の可能性は大きく広がっています。例えば新興国の国家戦略の第一歩に、民間企業の双日が貢献することは非常に重要な役割であり、ひいてはそれが世界全体の経済状況の底上げにつながるものと期待しています。双日は、財政状態の健全化も完了し、資産の入れ替えも進み、これくらいよいよ羽ばたいていこうというところまで来ています。私は、これからも専門である経済学の視点から見た意見を申し上げ、双日の企業価値の向上や、収益力の向上に貢献していきたいと考えています。



取締役・監査役的位置づけ（概略図）



## PROFILE

取締役（非常勤）

いしくら ようこ  
石倉 洋子

1985年 マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク 日本支社マネージャー  
1992年 青山学院大学国際政治経済学部教授  
1996年 エイボン・プロダクツ株式会社取締役（非常勤）  
2000年 一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授  
2001年 中央教育審議会委員  
2004年 ボーダフォンホールディングス株式会社取締役（非常勤）  
2005年 日本郵政公社社外理事（非常勤）  
日本学術会議副会長

2006年 株式会社商船三井社外取締役  
2008年 総合科学技術会議議員（非常勤）  
2010年 日清食品ホールディングス株式会社社外取締役（現）  
富士通株式会社社外取締役  
2011年 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授  
一橋大学名誉教授（現）  
2012年 ライフネット生命保険株式会社社外取締役（現）  
2014年 当社取締役（非常勤）（現）

## PROFILE

監査役（非常勤）

せこ みき  
瀬古 美喜

1978年 日本大学経済学部助手  
1981年 同大学経済学部専任講師  
1985年 同大学経済学部助教授  
1990年 同大学経済学部教授  
1998年 慶應義塾大学経済学部教授  
2013年 同大学名誉教授（現）  
武蔵野大学政治経済学部教授  
当社監査役（非常勤）（現）  
2014年 武蔵野大学経済学部教授（現）

Mikiko Seki





# 双日グループの 行動指針

当社では10周年の節目を迎えたことを機に、  
双日グループの行動指針を新しく策定しました。

## 行動指針

強い個を活かす組織力をもとに創造性を発揮し、  
すべてのステークホルダーに貢献するための行動指針

1. 確かな信頼を築く。
2. 将来を見据え、創意工夫する。
3. スピードを追求する。
4. リスクを見極め、挑戦する。
5. 強固な意志でやり遂げる。

## 担当役員インタビュー

### 行動指針が示すもの

当社では、企業理念を実現するために「New way, New value」というスローガンを掲げています。これは、グローバルに事業を展開する総合商社として、社会に新しい価値を提供し続ける会社であるためには、常に新しいものを作り収益に結びつけていく力が必要であることを端的に表しているもので、創造を目指す当社の考え方やアプローチを示しています。

行動指針は、この「New way, New value」というスローガンを実践するために、双日グループ社員の一人ひとりが、「自らがどうあるべきか」、「どのように実行すべきか」を考える拠りどころであるとともに、それぞれの現場での役割を果たしていくために身に付けておくべきこと、共通の心構えを示しています。

当社グループの社員は、さまざまな業界、さまざまな地域で仕事をしているため、いろいろな問題に直面することがあります。そのような際に、一人ひとりが、行動指針に立ち戻り、行動指針に基づ

いて考え、そして行動していくことが、双日という会社の価値と評価を高めることにつながると考えています。

### 行動指針を軸に創造に向けた活動を実践

100年以上前から総合商社は常に変化することで生き抜いてきました。そしてその変化の影には常に創造する情熱があり、それはこれからの双日グループにおいても変わらずに、受け継がれていくべきものです。

創造には、情報や機能などが求められる一方、最後は地道な努力の積み重ねです。今年が最終年度となる「中期経営計画2014」では「稼ぐ力の強化」のために、事業投資や組織改革をはじめとした施策に着実に取り組んでいます。こうした施策を確実に実現していくためにも行動指針に示す5つを軸として、一つひとつの活動を個人、組織が丁寧に実践しながら、ビジネスを創造することに果敢に挑戦し、次の10年の飛躍につなげていきます。



西原 茂

常務執行役員  
(経営企画担当)

## 株主説明会 活動報告

当社では、「中期経営計画2014～Change for Challenge～」の期間中、半年に一度、国内主要都市にて株主説明会を開催し、株主の皆さまと対話の機会を設けてまいりました。これまでに5回の説明会を開催し、のべ1,390名の株主さまにご来場いただきました。

今回は、株主説明会にご出席いただいた株主さまからのお声をご紹介します。

当社では、このほかにも個人株主・投資家の皆さまに向けたIR活動を強化しております。

- 定時株主総会の模様ウェブ配信
- 株主説明会の模様およびダイジェスト版のウェブ配信（年2回）
- 株主通信の発行（年2回）
- 個人株主・投資家向けウェブサイトの更新（月1回以上）
- 個人投資家向け説明会の実施（現中期経営計画期間で計11回）

今後も、個人株主の皆さまとコミュニケーションを図るための活動に注力してまいります。

### 株主説明会にご出席いただいた株主さまの声

- いろいろな事業の話が聞けて良かった。
- 社長の説明が丁寧で分かりやすかった。
- 今後の双日の“稼ぐ力”に期待します。
- 課題とそれに対する打ち手をもっと知りたい。
- より具体的なプロジェクト事例を紹介してほしい。
- 質疑応答の時間をもっと増やしてほしい。
- 毎年開催してほしい。



■ 開催実績  
(2012年度～2014年度)



説明会の様子は双日のウェブサイトでご覧いただけます。

双日 株主説明会

検索

<http://www.sojitz.com/jp/ir/meetings/share/>



## 福岡 株主説明会 開催のご案内



2015年3月に福岡におきまして、株主説明会を開催いたします。

2012年4月にスタートした「中期経営計画2014～Change for Challenge～」を中心に、今後の事業展開など、株主価値向上に向けた取り組みについてご説明させていただきたいと存じます。

当社をより深くご理解いただける機会になれば幸いです。

皆さまのご参加をお待ちしております。

- 会場収容人数の都合上、抽選とさせていただきます。
- 抽選の結果は、入場票の発送をもってご当選者の発表に代えさせていただきます（入場票は2015年2月上旬発送予定です）。
- ご入場は、当社から発送した入場票をお持ちの株主さまご本人限りとさせていただきます。

開催日	2015年3月2日(月曜日)
時間	午後2時～午後4時
場所	福岡市内のホテル
当社出席者	取締役ほか
お申込み方法	同封の返信用はがきに必要な事項をご記入の上、ご投函ください。
お申込み締め切り	2014年12月24日(水曜日) 必着

### ！ ご注意

- ※個人情報保護のため、同封の保護シールのはがきを離紙をはがし、返信用はがきの個人情報記載欄の上にシールを貼りつけてから、ご投函ください（切手は不要です）。
- ※会場までの交通費は株主さまご本人のご負担となります。
- ※参加申込用はがきにご記入いただいた個人情報は、議決権行使に関するご案内や株主さま向けの活動充実のために使用させていただく場合がございます。予めご了承の上、お申込みください。

本件に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
会社説明会専用窓口 株主さまサポートセンター  
TEL: 0120-313-282(通話料無料) 土日、祝祭日を除く平日 9:00～17:00



第6回

## アメリカンカジュアルスタイルを提案する 「マックレガー」ブランド



「永遠のアメリカンスピリット」をテーマにしたスポーティでクリーンなアメリカンカジュアルスタイルを提供する「マックレガー」。国際ブランドとして知名度の高いマックレガー商品をお持ちの方もいらっしゃるのではないでしょうか。こんなところにも双日が関係しています。

双日グループである双日インフィニティ(株)は、日本をはじめとする16の国や地域で「マックレガー」の商標権を所有し、各地での生産・販売のライセンスビジネスに取り組んでいます。日本国内では全国の百貨店、専門店などで展開しています。

双日インフィニティ(株)は、ファッションと生活をコーディネートし、豊かなライフスタイルを創造・提案していきます。

### NEWS!

「マックレガー」ブランドが、織研新聞社主催の「2013年度百貨店バイヤーズ賞」において、メンズ部門のベストセラー賞カジュアル部門第2位を受賞、また、レディス部門においても「カムバック賞」を受賞しました。

詳しくは、

双日インフィニティ

検索



<http://www.sojitz-infinity.com/>



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎事業年度終了後3カ月以内
株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL：0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (証券コード：2768)  *当社は東京・大阪両証券取引所に上場して おりましたが、大阪証券取引所は2013年 7月16日付をもって東京証券取引所と市場 統合を行ったため、当社の上場証券取引所は 東京証券取引所となっております。
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.sojitz.com/jp/koukoku/">http://www.sojitz.com/jp/koukoku/</a>  *ただし、事故その他やむを得ない事由によっ て電子公告による公告をできない場合は、 日本経済新聞に掲載する方法により公告いた します。

株式の状況	(2014年9月30日現在)
発行可能株式総数	2,500,000,000株
発行済株式総数	1,251,499,501株
株主数	176,399名

## 会社情報

会社概要	(2014年9月30日現在)
会社名	双日株式会社
英文名	Sojitz Corporation
設立	2003年4月1日
資本金	160,339百万円
事業目的	総合商社
本社所在地	〒100-8691 東京都千代田区内幸町二丁目1番1号
TEL	03-6871-5000
FAX	03-6871-2430
URL	<a href="http://www.sojitz.com/">http://www.sojitz.com/</a>
拠点数	国内 7(支店、国内法人等) 海外 87(現地法人、駐在員事務所等)

役員	(2014年9月30日現在)
代表取締役会長	加瀬 豊 (かせ ゆたか)
代表取締役副会長	原 大 (はら たかし)
代表取締役社長	佐藤 洋二 (さとう ようじ)
代表取締役副社長執行役員	段谷 繁樹 (だんたに しげき)
代表取締役副社長執行役員	茂木 良夫 (もぎ よしお)
取締役(非常勤)	石倉 洋子 (いしくら ようこ)
	北爪 由紀夫 (きたづめ ゆきお)
監査役	松本 順 (まつもと じゅん)
	尾島 洋一 (おじま よういち)
監査役(非常勤)	町田 幸雄 (まちだ ゆきお)
	瀬古 美喜 (せこ みき)
	津谷 忠男 (つや ただお)

## 中間配当のご案内

当期における中間配当については、期初の  
予定どおり、1株当たり2円50銭といたし  
ました。配当金は、2014年12月2日以降  
お受け取りいただけます。

なお、ゆうちょ銀行または郵便局で受領さ  
れる場合の払渡しの期間は、2014年12月  
2日から2015年1月9日までとなっております。

### 払渡しの期間終了後のお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部

 0120-232-711 (通話料無料)

土日、祝祭日を除く平日  
9:00 ~ 17:00

## 編集後記

「双」の2014冬号をご覧いただき、ありが  
とうございます。

今号の特集「双日の女性社外役員」では、  
当社社外取締役の石倉氏と社外監査役である  
瀬古氏に「双日の企業価値向上」をテーマに  
インタビューを行いました。両氏が、これまで  
の経験や知見を踏まえた独自の視点や考えを  
語っています。ぜひ一読ください。

そのほかにも、今年4月に新しく策定した  
当社の5つの「行動指針」について、その目的と  
意義に関する担当役員からのメッセージを  
掲載しています。

現中期経営計画がスタートした2012年  
にリニューアルを果たした株主通信「双」は、  
本号で6冊目を迎えることができました。次号  
は、2015年6月に発行予定です。皆さま  
どうぞご期待ください。 双日株式会社 IR室

## 株主カレンダー

2015年	
2月上旬	2015年3月期 第3四半期 決算発表・説明会
3月2日	福岡 株主説明会
5月上旬	2015年3月期 決算発表・説明会
6月下旬	第12回 定時株主総会

### 将来情報に関する注記

本報告書に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策など  
に関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。



双日株式会社